※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「Joy of Music」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々なジャンルの音楽にチャレンジしていきます。音楽を一生楽しめるような技能を身に付けましょう。
楽曲を演奏発表したり、作品について意見を交換したりする機会があります。音楽を通して、プレゼンテーションの力を身に付けましょう。
鑑賞の授業では、聴くだけでなく、音楽の構造や文化的・歴史的背景などについても学びます。音楽的な見方・考え方を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を育成する。
１　曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
２　個性豊かに音楽表現を創意工夫することや､音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
３　主体的･協働的に音楽の諸活動に取り組み､生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、自己とのイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	ミュージカル曲に挑戦しよう	【歌唱】 ・ミュージカル楽曲	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。（知識） a:創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工している。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱表現の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート
	和楽器に挑戦しよう	【和楽器】 ・篠笛 ・三線 ・箏 選択	a:和楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。（知識） a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するか、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。 c:曲想と和楽器の音色や奏法との関わり、及び和楽器を使った様々な表現に関心をもち、主体的・協働的に器楽表現の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

二学期	世界の音楽を聴こう	【鑑賞】 ・世界の音楽	a: a:世界各地の音楽の特徴や日本の伝統的な音楽の文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。（知識） b: ：音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: ：世界各地の音楽や日本の伝統的な音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	授業観察 ワークシート
	編曲に挑戦しよう	【創作】 ・任意の楽器で演奏できるように編曲する。	a:音を重ねたりしたときの響き、音階などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。(知識) a:創意工夫を生かした創作表現をするために必要な音楽を作る技能を身に付けている。（技能） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している。 c:音を重ねたりしたときの響き、音階などの特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

三学期	器楽を用いた自由創作	【器楽】【創作】 ・好きな楽器を選択し、自由に作曲し発表。	a:曲想と楽器の音色や奏法とのかかわり、音を重ねたりしたときの響き、音階などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。（知識） a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な音楽を作る技能を身に付けている。（技能） b:旋律やテクスチュア、楽器の演奏に関わる知識や技能を得たり意識したりしながら、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫し、音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現を創意工夫している c:曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解したり、楽器の奏法、基本的な身体の使い方を意識し、音を重ねたりしたときの響き、音階などの特徴に関心をもち創意工夫して主体的・協働的に器楽表現、創作の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート パフォーマンス課題	ワークシート パフォーマンス課題	授業観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度